

半身麻痺でも
伝えられる事がある！

後編

トーク&ライブあり

片腕でギターを弾いてみよう！

2024. **11/2**(土)

受付開始 13:00

講座開始 13:30-15:00

パラリンピック閉会式出演の「片腕のギタリスト輝彦」がパラリンピックで行った演奏を映像と共に再現！
また片腕でどうやって演奏するかを実際に弾いて体感してみよう！

輝彦さんは、病気によって半身麻痺という大きな困難に直面しました。その逆境を乗り越え、再びギターを弾き始めることで新たな人生を歩み始めました。

本講座では、夢に向かってのリハビリやパラリンピックへの道、一人暮らしについて話します。片腕で弾くギターのワークショップやミニライブもある楽しい講座です。

実際にギターを弾いてみたい方は
ギターをご持参ください。
種類は問いません。

【会場】逗子文化プラザ市民交流センター会議室 2F

【講師】片腕のギタリスト輝彦さん

【料金】1000 円 【定員】30 名 (要予約 / 先着順)

【申込み】10/4 (金) 9:00~受付 ※定員に達した時点で×切

①氏名 ②お住まいの地域③性別 ④年代⑤連絡先(メールアドレスと電話番号)

⑥お身体に不自由はないかを電話・FAX・Eメールで、または直接、市民交流センター窓口へ

主催：  逗子文化プラザ 市民交流センター / 逗子市教育委員会 共催：逗子市

[TEL] 046-872-3001 [FAX] 046-872-3003 [MAIL] ac-center@zushi-psc.org



講師プロフィール

片腕のギタリスト輝彦



13歳からギターを始め、様々なジャンルの音楽に取り組み、プロミュージシャンとして活動。
2012年、全国ツアーの最中に、脳出血により、病院に救急搬送された。幸い命は取り留めたものの、右半身麻痺という重い後遺症が残った。
右腕が動かない為、左腕だけでギターを弾くためにリハビリを開始。
片腕のギタリストとして新しいプレイスタイルを確立、新たな活動を開始している。
5年の歳月をかけて左手だけでギターを演奏出来るようになり、ソロコンサートを実現。
東京2020パラリンピック閉会式に出演。

病院や施設での同じ後遺症を抱える患者さんの前での演奏だけでなく、小、中学校での道徳授業の講演演奏も行なっている。
人権セミナーでの講演演奏など、老若男女問わず、未来を担う子どもたちの心にも響く演奏へと、さらなる活躍の場を全国に広げている。
壁は自分自身が作っている、あきらめずに生きることを伝える命がけでの演奏は、聴く人の心に深く響く。

申込み書

氏名(カタカナで記入)

お住まいの地域 逗子市内・市外

性別 男性・女性・その他

年代 10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上

E-MAIL

TEL/FAX

今回の講座の参考にお聞きします。お身体で不自由はございますか？ はい・いいえ

手話通訳や要約筆記は必要ですか？ はい・いいえ

質問等がありましたらご記入ください。

※当日の詳細をご案内しますのでなるべくメールアドレスをご記入下さい。
都合により企画の内容や定員・開催時間などの変更、中止させていただく場合があります。
ご来場前に必ず当該イベントのホームページにて開催の有無をご確認ください。

【会場のご案内】

逗子文化プラザ市民交流センター
〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11

TEL : 046-872-3001

FAX : 046-872-3003

MAIL : ac-center@zushi-psc.org

京浜急行「逗子・葉山」駅より徒歩 2分

JR「逗子」駅より徒歩 5分

